

モザンビーク共和国月報（2018年8月）

主な出来事

【内政】

- 6日、軍事問題に係る合意文書への署名
- 15日、レナモ党員の非武装化・統合プロセスを進めるための4つのグループの創設を発表

【外政】

- 26日、ロザリーオ首相のムナンガグワ・ジンバブエ大統領就任式出席

【経済】

- 10日、ローカルコンテンツセミナー
- 30日、政策金利引き下げ

【内政】

軍事問題に係る合意文書への署名

(1) 8月6日、ニュシ大統領は、レナモ党の非武装化及び党員の軍隊への統合に関する合意文書への署名を行った旨発表した。本合意文書は、7月11日のベイラ市でのニュシ大統領とモマデ・レナモ党調整官の会合の成果物である。ニュシ大統領は、同署名により、レナモ党の非武装化プロセスに向けた手段が整うこととなり、今後の歩みについては近々公表予定である旨述べた。

(2) ニュシ大統領は、素晴らしい国を築くために国民が力を合わせるよう激励すると共に、国際社会に対して、レナモ党の非武装化・統合プロセスへの支援の継続を呼びかけた。なお、和平プロセスを支援するためのコンタクト・グループの議長であるマンゾーニ当地スイス大使は、先週末にソファアラ州ゴロンゴザを訪問し、レナモ党幹部と会合を行っていた。

(3) ニュシ大統領とモマデ調整官の間の合意事項の一つが、統合されるレナモ党員のリストの提出であるが、これまでに同リストが提出されたかについての公開情報はない。

(8/7オパイス紙)

軍事問題に係るワーキング・グループの創設

(1) 8月15日、ニュシ大統領は、レナモ党員の非武装化・統合プロセスを進めるための4つのグループの創設を発表した。レナモ党との合意文書に基づいて創設されたこれらのグループは、フレリモ党及びレナモ党の関係者により構成されている。

(2) 4つのワーキング・グループは以下のとおり。

ア 軍事問題委員会

イ 非武装化及び統合のための共同テクニカル・グループ（本部：ベイラ市）

ウ モザンビーク国防軍（FADM）及びモザンビーク国家警察（PRM）への雇用のための共同テクニカル・グループ

エ モニタリング及び確認のための共同テクニカル・グループ（本部：ゴロンゴザ）

（３）また、ニュシ大統領は４つのワーキング・グループに加え、非武装化プロセスのための資金を集めることを目的とした国際的なグループについても言及した。更に、レナモ党の合意に基づいて、レナモ党员であった３名の国防軍佐官の昇格が発表された。

（８/１６ オパイス紙）

アラウージョ・キリマネ市長の解任

（１）８月２８日、アラウージョ・キリマネ市長の解任が閣議で承認された。関係者によると、同解任は市長に選出された際の政党（MDM）と１０月の市議会選挙に出馬する政党（レナモ党）が異なる状況が法令に違反していることが原因であるとしている。

（２）同市長の解任は、１週間程前にキリマネ市議会において臨時会期が招集され、MDM関係者等が同市長の解任を主張したことに端を発している。アラウージョ市長は、２０日以内に行政裁判所に解任に対する異議申立を行うことが可能であるが、同市長が異議申立を行わない場合にはアルブケルキ・キリマネ市議会議長が市長代理として残りの任期を務めることとなる。

（３）閣議の承認に対しアラウージョ市長は、「我々の仕事を人気の終わりまで勤め上げるつもりである。閣議がこのような決定をしたとしても、未だ自分のところに正式な通知は来ておらず、報道に基づいて行動するのではなく、まずは政府の文書を待ちたい。」と述べている。

（４）アラウージョ市長は、２０１１年のキリマネ市長補欠選挙で勝利した後、２０１３年の全国市長選挙でも勝利して以来、同市の市長を務めていた。

（８/２９、３０ オパイス紙）

【外政】

パシェコ外務協力大臣のシンガポール訪問

（１）８月２７日から２８日にかけて、パシェコ外務協力大臣はシンガポールとサブサハラ諸国間での知見の共有のための第３回閣僚級フォーラムへの出席のためにシンガポールを訪問した。同フォーラムは「シンガポールとアフリカ：スマート・シティーのためのパートナー」のテーマの下で開催され、経済的発展、社会的発展及び環境保護の３つの柱に関する議論が行われる。

（２）パシェコ大臣は、同訪問の機会にリー・シェンロン首相を表敬する他、バラクリシュナン外相との会談を実施し、企業家フォーラムにも参加した。今次訪問は、モザンビーク外務協力大臣として初めてのシンガポール訪問であり、シンガポールとの政治、外交、経済関係強化及び投資拡大のために実現するものである。両国間では、既に技術・職業訓練、農業、インフラ、投資保護、海洋警備等の分野における協定を締結している。

（８/２７オパイス紙）

ロザリオ首相のムナンガグワ・ジンバブエ大統領就任式出席

(1) ロザリオ首相は8月26日、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領就任式に出席した。ロザリオ首相は、「ジンバブエは大国であり、周辺国は同国との関係から恩恵を享受しようとしている。モザンビークは港湾や鉄道、その他資源等、多くのものを供給することができるが、我々はより多くを得られるよう、効率性を高めなければならない。」と述べた。

(2) またロザリオ首相は、就任式は平和裏に開催されており、戦略的なパートナーであるためにも強固な国であり続けて欲しい旨述べた。ジンバブエは国外との貿易においてモザンビーク・ベイラ港を活用しており、またモザンビークはジンバブエへの最大電力供給国の一つである。

(8/28 オパイス紙、A I M)

モザンビーク・中国関係

モアティーゼ・シャンヴァ間の鉄道整備

中国国鉄は25億ドルを投じてモアティーゼとジンバブエのシャンヴァの間の鉄道「トランス・ザンベジア線」を整備する計画を発表した。同線を既存のナカラ回廊鉄道と接続することでジンバブエ、ザンビアからナカラ港へのアクセスを確保する。

【経済】

主要経済指標

- ・ 名目 GDP : 110.1 億米ドル (2016 年世銀)
- ・ GDP (1人あたり) : 382.1 米ドル (2016 年世銀)
- ・ GDP 成長率 : 2.9% (2017 年, IMF 推定)
- ・ 輸出 (通関ベース) : 47.19 億米ドル (2017 年中銀)

主な輸出品は、石炭、アルミニウム、電力、天然ガス、たばこ、重砂、砂糖、果物。

- ・ 輸入 (通関ベース) : 51.83 億米ドル (2017 年中銀)

主な輸入品は、機械類、ディーゼル、ボーキサイト、建築資材、電力、医薬品。

- ・ インフレ率 : 5.65% (2017 年通年, 国家統計院)

経済関連など

ローカルコンテンツセミナー

10日、カーボデルガード州ペンバにて政府主催、米アナダルコ社共催の大規模なローカルコンテンツセミナーが開催された。アナダルコ社幹部によって国内企業パートナーの認証要件が明らかにされたほか、ニュシ大統領や閣僚によって国内企業を保護しない政策と、対外競争の喚起がなされた(8/12 ドミンゴ紙、8/13 オ・パイス紙ほか)。

政策金利引き下げ

30日、中銀金融政策委員会は政策金利を15%に引き下げる決議を下した。一方で貸出金利は18%、預金金利は12%、強制預託金利は14%に、それぞれ据え置いた。(8/31 オ・パイ紙、ノティシアス紙)

エチオピア・モザンビーク航空就航

エチオピア航空が当地法人エチオピア・モザンビーク航空を設立し、10月1日よりナカラ空港を拠点とした国内線、国際線の運行を開始する。(8/31 ノティシアス紙)

(了)